

動物の診察室から

○ 10 ○

今年八月始めの一週が、イラガに刺されると間、同じような症状のワンちゃんを毎日診察しました。

その症状は、散歩中に急にキャンキャンと痛がり、足がつけなくなるものです。共通しているのは、骨や関節にはまったく異常がなく、よく見ると足の裏に発赤があるだけで、その部分を触ると嫌がるのです。

原因は、「イラガ」という毛虫です。イラガは日本中どこにもいる方で、その幼虫の毛虫は英語でスラッグ・キャタプラー（ナメクジいも虫）といわれ、一センチくらいでモゴモゴと動き、体には多くのとげを持っていきます。毛虫に刺されると、かゆみが出る場合と、痛みがある場合があります。

イラガの幼虫 新潟市中央区の鳥屋野潟公園



「毛虫」に注意!

踏みつけて電撃的痛み

ソーンとしばらく痛がって、その後、飼主さんには大変なことが起きたので、病院に連れてきます。また春先は、イネ科の草が根元がとがって、細かい毛がたくさん生えているために、鼓膜に刺さったり、鼻の内部に入ったりします。鼻の穴の大きな犬は、くしゃみを連発すると出てしまいますが、そこにとまると、鼻炎や、外耳炎になってしまいます。また、結膜の内側に入ると散歩のあと急に目が開かなくなり翌日には膿状の目やにが出るようになります。

このノギは皮膚に刺さって化膿することもありますので、散歩のあとにはワンちゃんの体をよく見て、体についているものはきれいにとってあげましょう。

草村 正人 (獣医師・新潟市)

＝毎月第2・4木曜掲載＝

